

別添第1号

平成26年度

事業報告書

社会福祉法人 大分県社会福祉協議会

目 次

概 要	-----	1
各部所事業報告		
総務・企画情報部	-----	3
地域福祉部	-----	8
生活支援部	-----	32
施設団体支援部	-----	43
身体障害者福祉センター	-----	50
社会福祉介護研修センター	-----	62
福祉サービス運営適正化委員会	-----	81
第三次総合福祉計画実施報告	-----	87

26年度事業報告（概要）

近年における家族形態の変容や地域での支えあい意識の低下など、人間関係の希薄化を背景とした児童・高齢者への虐待、高齢者等の孤立、孤独死などの問題が山積みしているなか、住民主体による地域福祉活動を積極的に推進し、誰もが地域で安心して暮らせるまちづくりのための事業を重点的に取り組んだ。

また、生活困窮者自立支援法の施行に対し、市町村社協の取り組みを組織的に支援するとともに、「日常生活自立支援事業」や「苦情解決事業」の積極的な推進を図り、さらには生活困窮者に対する相談援助として、生活福祉資金貸付事業等のセーフティネットの各種制度を利用した生活支援の強化を図った。

第3次中長期活動計画だいふくプラン2013の2年目にあたり、各重点テーマ毎の実施計画に基づき事業展開を図った。あわせて経営基盤強化に向けた財源確保に取り組み、地域福祉推進のための各事業を積極的に行った。

1 高齢者・障がい者・子どもとその家族の安心・安全を目指して

誰もが住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、「地域包括ケア」の推進を図るため、県社協及び各種別協議会、また行政が連携し研修の強化を図った。また、福祉施設における地域公益活動（社会貢献活動）として、制度の挟間で困っている人たちへの支援の仕組みを関係団体・機関が連携し、モデル事業等を通して研究協議を行った。さらに地域移行が進む障がい者が安心した生活ができるよう、共同受注の促進等、福祉施設における就労支援の取り組みを支援した。

2 社会的孤立の解消を目指して

誰もが安心して心豊かに生活を営めることができる地域社会を目指し、サロン活動による見守りネットワークの普及や買い物弱者支援のためのセミナーの開催を通じて小地域ネットワークの構築を支援し地域の福祉力向上に努めた。また、生活困窮者支援への対応を強化するため、各市町村社協の積極的な取り組みを促すため先駆的事例による啓発を行った。

3 権利擁護システムの確率

福祉サービス利用者の保護のための「日常生活自立支援事業」を充実強化するため、地域のニーズが本事業の利用につながるよう広報・啓発や関係職員の資質向上等の一層の推進を図った。

また、成年後見の専門機関とのネットワークを構築し、相互の連携を強化し、相談支援体制の充実を図った。

4 災害に強い地域づくり

市町村災害ボランティアネットワーク会議を開催し、各市町村で災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルや災害時の支援体づくりを進めた。

また、災害ボランティアセンターリーダー・スタッフ研修を実施するとともに災害ボランティア体験型研修（避難所運営訓練）を行った。

5 福祉ゾーン機能の充実・確立

ウェルフェアツーリズム事業をすすめるため、ソウル市社会福祉協議会等を訪問し、韓国の福祉事情の調査を実施した。また、介護研修センターへの視察等の受け入れ体制の整備を行った。さらに、身体障害者福祉センターのあり方について現場サイドからの問題提起を実施した。

6 情報発信力の強化

ホームページの定期更新を行うとともに、制度変更等の情報についてその要点を整理し、わかりやすい情報提供に努めた。また、本会のキャラクターだいふくんを活用した社協のPRや事業紹介に積極的に取り組んだ。

7 財政基盤の確立

経営基盤強化・発展計画の財政再建特別対策期間の中間年にあたり、賛助会員の増員や総合社会福祉会館貸し会場収入の増額のため、積極的にPRを行った。あわせて、経費節減について職員が一丸となり取り組み、計画通りの財政再建の水準を確保することができた。

総務・企画情報部

総務課

適切な法人運営を行うため、理事会等各種会議を開催したほか、人事考課制度を運営するとともに、人材育成基本方針のもと人事管理の強化に努めた。

1 県社協組織の運営

(1) 役員会等の開催

会議名	期日	主な議題
監事監査	5月15日	平成25年度事業実施状況、決算状況
第226回理事会	5月28日	平成25年度事業報告、決算等
第157回評議員会	5月28日	平成25年度事業報告、決算等
第227回理事会	1月29日	諸規程の一部改正
第227回理事会	3月25日	平成27年度事業計画(案)、予算(案)
第158回評議員会	3月25日	〃

(2) 市町村社協との連絡調整及び各種会議の開催・参加

①市町村社会福祉協議会事務局長会議

期日 平成26年4月22日
 場所 大分県総合社会福祉会館 大ホール
 出席者 28名
 内容 ・県行政説明
 ・平成26年度県社協重点事業、事業計画

②全国社会福祉協議会・九州社会福祉協議会連合会関係会議等

(全国関係) (九州関係)

会議名	期日	場所
全国社会福祉協議会評議員会	5月19日	全社協
	3月5日	全社協
都道府県社協常務理事・局長セミナー	7月17～18日	ロフォス湘南
全社協常務理事・事務局長会議	1月30日	全社協
九社連総務部課長・職員研究会議	12月10日	熊本県
九社連事務局長会議(前期)	8月21日	熊本県
〃(後期)	2月25日	北九州市
都道府県社協総務担当部課長会議	9月24日・25日	全社協

(3) 職員の資質向上等への取り組み

①社会福祉施設等新任職員研修会参加 (4月24日～25日)	6名
(6月19日・20日)	7名
②社会福祉協議会新任職員研修会 (5月 9日)	2名
③広報講習会 (9月17日)	1名
④人権研修会 (2月5日・12日)	全職員
⑤中堅研修会 (6月1日・5日)	3名
⑥人事考課研修 (11月27日)	13名
⑦地域福祉コーディネーター研修 (全3回)	4名
⑧中間管理職研修 (8月7日～8日)	4名
⑨職場内研修の手法研修 (11月7日)	1名
⑩事務担当職員研修 (12月9日)	2名
⑪社会福祉施設現場研修 (11月6日～7日、11月18日～19日)	6名
⑫AED講習会	全職員

(4) 社会福祉関係従事者等の顕彰

10月29日、別府市ビーコンプラザで開催した「第9回大分県地域福祉推進大会」の席上において、218名・57団体の表彰を行った。

①県社協会長表彰

・民生委員児童委員特別功労者	103名
・社会福祉事業関係功労者	81名
・自力更生者	3名
・ボランティア功労者・団体	11名・19団体
・優良社会福祉施設	6団体
・優良社会福祉協議会	1団体

②県社協会長感謝状

・ボランティア功労者・団体	17名・21団体
・善意銀行寄付者・団体	2名・10団体
・事業協力者	1名

(5) 県社協職員人材育成基本方針による研修の実施

地域福祉の推進、特に地域の支えあい「共助」が求められている中、県民の役に立つ人材を戦略的に創出、育成し、意識改革を行い、組織風土を変革し、新たな地域コミュニティの創造に役立つ人材育成を目的にした研修を実施した。

(6) 指定管理施設の管理・運営

社会福祉介護研修センター及び身体障害者福祉センターの指定管理者として、両施設の効率的な管理・運営に努めた。

2 善意銀行の運営

指定預託金 52 件、一般預託金 10 件、合計 62 件の預託があった。このうち一般預託金の配分については、善意銀行配分委員会で、各福祉団体から申請のあった各種事業等に対する助成を行った。

3 総合社会福祉会館の運営

(1) 施設の利用状況

福祉関係団体をはじめ広く一般に、研修、会議、大会等の会場としての利用促進を図った。

(大分県総合社会福祉センター)

区 分	福 祉 関 係		一 般		計	
	件数	利用人数	件数	利用人数	件数	利用人数
大ホール	94 (117)	8,873 (9,581)	39 (36)	7,770 (6,456)	133 (153)	16,643 (16,037)
大会議室	20 (25)	670 (1,364)	13 (19)	1,250 (1,300)	33 (44)	1,920 (2,664)
中会議室	92 (83)	2,685 (2,482)	48 (49)	2,032 (1,701)	140 (132)	4,717 (4,183)
小会議室	279 (276)	3,458 (3,312)	96 (106)	1,981 (1,875)	375 (382)	5,439 (5,187)
合 計	485 (501)	15,686 (16,739)	196 (210)	13,033 (11,332)	682 (711)	28,719 (28,071)

※ () 25 度

4 民間社会福祉施設従事職員の福利厚生

(1) 民間社会福祉施設職員退職共済事業の実績

	25 年度	26 年度
加入者数	8,840 人	8,742 人
給付人数	940 人	1,023 人
給付金額	663,928,866 円	968,589,022 円

(2) 民間社会福祉施設互助共励事業の実績

給付金種類	25年度		26年度	
	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)
弔慰金	10	380,000	11	310,000
傷病手当金	20	260,000	14	200,000
結婚祝金	197	2,955,000	190	2,850,000
出産祝金	231	3,465,000	239	3,570,000
入学祝金	186	3,720,000	227	4,240,000
脱退一時金	125	16,220,464	129	16,548,000
災害見舞金	2	40,000	0	0
合計	771	27,040,464	810	27,718,000

企画情報課

第3次中長期活動計画初年度の取り組みについてその進捗状況を確認し、さらに効率的な事業展開を図るため事業整理に取り組んだほか、キャラクターの「だいふく」を通じた社協PRに取り組んだ。また、定期的に事業企画会議を行い、広報誌の定期的発行やホームページの更新、また、情報提供のあり方についても協議工夫し積極的に取り組んだ。

- 1 だいふくプラン進捗状況確認
- 2 委託・補助事業等整理効率化の取り組み
- 3 キャラクター「だいふく」による社協PR
 - (1) 着ぐるみによるPR活動
 - ①別府ラクテンチ
 - ②うみたまご(ふくしまっこ応援プロジェクト募金活動)
 - ③ゆうあいスポーツ大会
 - ④日田市川開き観光祭(ふくしまっこ応援プロジェクト募金活動)
 - ⑤挾間町ピアノコンクール
 - ⑥大分駅周辺PR活動(ふくしまっこ応援プロジェクト募金活動)
 - ⑦トリニータ試合前PR(ふくしまっこ応援プロジェクト募金活動)
 - ⑧大分いこいの道誕生祭
 - ⑨庄内厚生館イベント
 - ⑩大分エルセルモイベント
 - ⑪佐伯市社協イベント

- ⑫子育て環境セミナー
- ⑬赤い羽根空の第一便伝達式
- ⑭関愛会10周年記念行事
- ⑮車いすマラソン開会式
- ⑯身障センターふれあいフェスタ
- ⑰日出町JA10周年記念行事
- ⑱レイメイ藤井イベント
- ⑲パークプレイス（ふくしまっこ応援プロジェクト募金活動）
- ⑳ぶんごにわさき市場創業祭

(2) グッズ等によるPR

- ①だいふくん甘酒
- ②だいふくんクレパス
- ③だいふくんスケッチブック
- ④だいふくんストラップ
- ⑤シール、ポケットティッシュ等

4 大分県社協経営基盤強化・発展計画の取り組み

平成27年度までの中期経営再建計画に基づき、収入の増加策や支出削減策について計画的に取り組んだ。

5 情報提供の充実

- ①広報誌の発行 年3回
- ②ホームページのリニューアル

地域福祉部

地域福祉課

地域に密着した小地域福祉活動の推進を図るため、地域活動の核となる地域福祉コーディネーターの養成・育成に力を入れるとともに、市町村社協の基盤強化のための研究協議や社協役職員の資質向上のための研修会及び地域住民や関係団体等を対象とした各種事業を展開した。

また、災害時要援護者を地域で守る仕組みを構築することで、平時においても安心して生活が出来る地域づくりを目的としたマニュアルを作成するとともにそのマニュアルを活用した研修会を県内11地区で実施した。

1 地域福祉活動推進支援

(1) 小地域ネットワーク活動の推進

誰もが安心して心豊かに生活を営むことができる地域社会を創り出すため、地域で住民が支えあい・助けあう小地域ネットワークを普及推進し、地域の福祉力を高めるための人材育成及び技術支援を行った。

①各市町村社会福祉協議会の地域福祉活動計画策定及び改訂支援

- ・地域福祉活動策定に係る資料提供及び委員会設置のための学習支援
- ・地域福祉活動計画改訂委員会への職員派遣

②地域福祉コーディネーターの養成・育成

・第1クール

期 日 6月5日(木)～6日(金)

内 容 講義「これからの地域福祉とコミュニティーソー
シャルワーカーへの期待」
演習「社会福祉協議会におけるニーズ把握の方法について」

・第2クール

期 日 9月5日(金) 10月21日(火)

内 容 講義「これからの地域福祉とコミュニティーソー
シャルワーカーへの期待」
演習「社会福祉協議会におけるニーズ把握の方法について」

・第3クール

期 日 6月5日(木)～6日(金)

内 容 講義・演習「ケアカンファレンス、ネットワーク
会議の開き方」
講義・演習「コミュニティーソーシャルワーカーの視点」

・フィールドワーク

期 日 11月21日(金)
大分市内「ホームレス支援の現場学習」

・第4クール

期 日 11月12日(水)～13日(木)
内 容 講義・演習「コミュニティーソーシャルワーカー
実践のプランニング」
講義・演習「これからの地域づくりに向けて(まとめ)」

③生活困窮者自立支援制度への対応支援

- ・生活困窮者対策班の設置
- ・各市町村社会福祉協議会への巡回支援
- ・県地域福祉推進室との連携による相談支援及び情報提供

(2) 市町村社協学習支援事業の実施

市町村社会福祉協議会職員の資質向上、並びに組織力の強化を図るため、市町村社協が希望する学習内容に対応し、講師及び職員の派遣を行った。

実施回数：年14回

2 市町村社協運営の円滑化の促進と活動強化支援推進

(1) 地域福祉推進委員会の運営

社協が取り組む地域福祉の推進と社協基盤の確立強化を図るため、当面する課題への解決策を明らかにすべく調査研究や検討会を開催実施した。

①本委員会の開催(3回)

(内容)

○第1回：6月19日(木)

- ア 平成25年度事業報告について
- イ 平成26年度事業計画(案)について
- ウ 各研究部会について
- エ 市町村社協常務理事・事務局長研究協議会について

○第2回：1月22日(木)

- ア 平成26年度各部会の取り組み状況中間報告について
- イ 平成27年度事業方針(案)について

○第3回：3月11日(水)

- ア 平成26年度各部会の取り組み報告について
- イ 平成27年度事業計画(案)について
- ウ 大分県社協地域福祉推進委員会改選について

②部会の開催

- ア 法人経営・制度政策研究部会 12月24日(水) 3月6日(金)
- イ 地域・在宅福祉推進事業等研究部会 11月17日(金)、2月26日(木)
- ウ 地域防災研究部会 9月29日(月)、12月8日(月) 2月24日(火)

③在宅福祉(介護保険業務)部門担当者連絡会の開催 2月20(金)

- ア 経営診断関係データの分析
- イ 「市町村社協介護保険事業経営セミナー」の開催

④資料提供

全社協など中央の情報等を随時メール配信した。

(2) 各種調査活動等

- ①市町村社協の現況調査(抜粋版作成)
- ②市町村社協別見守りなどの小地域ネットワーク設置状況調査
- ③就業規則調査
- ④顧問弁護士就任状況調査
- ⑤社協会費調査

(3) 役員・職員の資質向上を目的に会議・研修・学習会を実施

会議・研修名	期 日	会 場	内 容	参加者
市町村社協新任職員研修会	5月9日 (金)	県総合社会福祉会館	・社協の使命と役割 ・新たな生活困窮者自立支援制度について ・社協活動と必要な視点	36名
社協中間管理職職員研修	8月7日(木) ～8日(金)	県総合社会福祉会館	・講義 組織を強くする人材とその育成	22名
社協常務理事・事務局長研究協議会	7月17日 (木)～ 18日(金)	ホテルニューツルタ	・講演 権利擁護センター府中の取り組み ・活動報告 中津市社協・白杵市社協 ・分散会	42名

(4) 市町村社協事業・行事への支援

- ・市町村社協主催の社会福祉大会等への出席
大分市、別府市、日田市、佐伯市、臼杵市、竹田市、由布市、
杵築市、日出町、九重町

(5) 善意銀行を通じた社協への物品等の配分

善意銀行を通して寄贈の申し出があった介護用ベッド、車いす、巡回車両等について、以下のとおり社協への配分を行った。

寄 贈 者	品 目	贈呈社協
日産プリンス大分販売株式会社労働組合	介護ベッド	杵築市
大分県生命保険協会	巡回車両	佐伯市、県社協
ヤクシングループ ヤクシン友の会	車いす	大分市
大分教区仏教婦人会連盟	車いす	国東市、津久見市
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社大分支店	車いす	豊後高田市、玖珠町

3 災害時要援護者への支援

(1) 災害時要援護者支援対策事業の推進

①避難行動計画作成研修マニュアルの作成・配布

- ・マニュアル検討会議 8回開催
- ・マニュアル作成部数 1,500部
- ・マニュアル配布先 各市町村、市町村社協、希望自治会等

②避難行動計画作成研修の開催

- ・海岸部11の市町村で開催
姫島村、佐伯市、日出町、別府市、国東町、中津市、杵築市、宇佐市、
豊後高田市、大分市、津久見市
- ・研修参加者 計585人

4 民生委員・児童委員活動との連携

地域社会における住民同士の支え合いや安全・安心の確保が求められるなか、孤立し深刻な課題を抱えている高齢者世帯・子育て家庭等を発見し、行政や専門機関につなぎ、福祉サービスの利用や支援につなぐ役割を担う民生委員・児童委員に対し、県民児協事務局として各種事業支援を行った。

(1) 県内研修会等の企画・実施

- ①単位民生委員児童委員協議会会長研修会（参加：195名）
- ②単位民生委員児童委員副会長研修（参加：175名）
- ③民生委員・児童委員ブロック別研修会（8会場／参加：2,709名）
- ④中堅民生委員・児童委員研修会（参加：158名）
- ⑤主任児童委員研修会（参加：212名）
- ⑥子育て環境セミナー（参加：564名）
- ⑦民生委員・児童委員等の相談に関する研修会（参加：377名）

(2) 市町村社協事業との連携

- ①生活福祉資金等貸付事業への協力
長期滞納世帯などの状況把握への協力
- ②法律巡回相談の実施
実施か所：13か所、相談者数：64人（件数：65件）

(3) 市町村民児協組織の整備と活性化支援

- ・全国社会福祉協議会・指定民生委員児童委員協議会の育成
 - ア 由布市挾間町民生委員児童委員協議会
 - イ 豊後高田市香々地民生委員児童委員協議会

(4) 児童委員活動強化推進方策「子育てサロン」モデル民児協の指定

「児童委員並びに主任児童委員活動の活性化及び児童虐待防止と子育て支援活動の活性化」を推進するためモデル民児協を指定し、「子育てサロン」の立ち上げ支援を行った。

（指定民児協名）

- ・大分市別保校区民生委員児童委員協議会
- ・大分市明野地区民生委員児童委員協議会
- ・佐伯市佐伯南地区民生委員児童委員協議会

(5) 全国及び九州ブロック会議、研修会への参加

- ① 全民児連正副会長会議
- ② 全民児連評議員会
- ③ 評議員セミナー
- ④ 全民児連総務部会
- ⑤ 民生委員制度創設100周年記念事業推進委員会
- ⑥ 都道府県・指定都市市民児協事務局会議（東京都）
- ⑦ 全国民生委員・児童委員大会（和歌山県）
- ⑧ 民生委員・児童委員のための相談技法研修会（横浜市）
- ⑨ 全国主任児童委員研修会（神戸市）
- ⑩ 全国民生委員児童委員指導者研修会（神奈川県）
- ⑪ 民生委員・児童委員リーダー研修会（東京都）
- ⑫ 全国児童委員研究協議会（千葉県）
- ⑬ 九州ブロック民生委員児童委員関係事業会議（沖縄県）

(6) 互助事業の実施

- ① 慶弔事業の実施
- ② 退任記念品料給付事業の実施
- ③ 傷病見舞金給付事業の実施
- ④ 全国互助共励事業給付の実施
- ⑤ 民生委員・児童委員活動保険への一括加入

(7) 広報活動及び情報提供等

- ① PR用チラシ・ポケットティッシュの作成、配布
- ② 広報紙（県民児協だより）「愛」の発行（年3回）
- ③ 全民児連ホームページ（mj ASSIST）の活用促進
- ④ 各種資料の提供
 - ・ 児童委員活動の手引き39集
 - ・ 「民生委員・児童委員の活動環境の整備に関する検討会」報告書

5 関係団体との連携、支援

(1) 社協職員連絡協議会の運営支援

社協職員の資質向上と情報交換を目的に組織されている「大分県市町村社協職員連絡協議会」の運営支援を行った。

①交流・研鑽事業の支援

期 日 1月30日(金)～31日(土)

会 場 臼杵市社協、臼杵市観光交流プラザ

参加者 38名

内 容 「生活困窮自立支援と成年後見制度
～社会福祉協議会としてどのように向き合うべきか～」
臼杵市理事兼協働まちづくり推進局長 西岡 隆 氏

「精神障害や疾患を持つ方々への関わりと支援」

大分県精神福祉士協会会長 古賀朋和 氏

交流会

②幹事会・総会の開催

総 会 8月4日(月)

幹事会 9月8日(月)

③「職員相互派遣学習会」の実施支援

県内各市町村社協がお互いに各分野の専門知識や技能を共有できるよう講師の職員派遣を行う事業を推進した。

(2) 情報提供等

①県社協主催のセミナーや研修会についての情報提供

②市町村社協職員学習会との連携による支援

③ミーリングによる介護保険事業等の制度情報の提供

(3) NPO、小規模福祉団体への支援

県内で活動するNPO団体や小規模福祉団体への情報提供や活動等に対しての相談に応じた。

(4) 県共同募金会との連携

募金活動及び配分についての意見を提示した。

7 調査・情報機能の充実

- (1) 県社協ホームページ及びブログによる社協事業・活動等の広報
- (2) 調査・研究活動
 - ・平成26年度市町村社会福祉協議会役職員名簿の作成

8 その他

- (1) 第9回大分県地域福祉推進大会の開催

地域福祉推進のシンボル大会として「第9回大分県地域福祉推進大会」を開催するとともに、県社協会長表彰・感謝状の授与を行った。

①大分県地域福祉推進大会実行委員会 7月29日(火)

②第9回大分県地域福祉推進大会

期 日	10月29日(水)
会 場	別府ビーコンプラザ
参加者	2,000名

長寿いきいき班

高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、「豊の国ねんりんピック」の開催、「全国健康福祉祭とちぎ大会」への選手団派遣のほか、地域活動を促進するためのリーダーの育成及び普及啓発活動等の事業を実施した。

1 豊の国ねんりんピック開催事業

(1) 第25回豊の国ねんりんピック シルバー作品展

期 日 平成26年6月4日(水)～6月8日(日)

会 場 アートプラザ(大分市荷揚町)

入場者数 1,054名

① シルバー作品展 (点)

部 門	日本画	洋画	写真	書	鞆・籠	工芸	合計
作品数	23	32	31	41	14	46	187

※全作品を展示。

② シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展 (点)

部 門	短 歌	俳 句	川 柳	合 計
作品数	281	657	473	1,411

※45点(各部門15点)の入選作品を展示。

(2) 第25回豊の国ねんりんピック

期 日 平成26年9月28日(日)を主日程として開催

会 場 県立総合体育館、大洲総合運動公園ほか

事 業 名	会 場	日 程	参加人員
総 合 開 会 式	県立総合体育館	9/28	3,900名
スポーツ交流大会(12競技)	大洲総合運動公園	9/28	
〃 ゴルフ	別府扇山ゴルフ倶楽部	10/10	
ふれあい交流大会(4競技)	大洲総合運動公園	9/27.28	
シルバー囲碁大会	県総合社会福祉会館	9/28	
シルバー将棋大会	県総合社会福祉会館	9/28	
ふれあい俳句大会	県総合社会福祉会館	9/28	
(協賛イベント)親善交流登山会	霊山(大分市)	9/21	
(〃)太極拳交流大会	県立総合体育館	9/28	
(〃)後藤建寿杯第29回県なぎなた選手権大会	県立総合体育館	27.2/14.15	

2 第27回全国健康福祉祭とちぎ大会派遣事業

(1) 選手団派遣

結団式 平成26年9月19日(金)
 開催期間 平成26年10月4日(土)～7日(火)
 参加人員 選手107名、本部役員7名(計16種目、114名)

種目等	人員	種目等	人員	種目等	人員
卓球	6	マラソン	3	ソフトバレーボール	7
テニス	7	弓道	6	ゲートボール	11
ソフトテニス	7	グラウンド・ゴルフ	6	将棋	3
ソフトボール	15	太極拳	(8)	健康マーじゃん	(4)
ペタンク	3	剣道	5	ダンススポーツ	(9)
※()の数字は自費参加者数				インディアカ	(7)
				役員	7

(2) 試合結果

ソフトバレーボール〈第1位グループ3ブロック準優勝〉	日田あさぎり
卓球〈第3位グループ第3位〉	大分めじろん
将棋〈団体戦第3位〉	ミラクルめじろん
健康マーじゃん〈個人戦白ブロック第7位〉	北川幸夫選手

【優秀賞】

グラウンド・ゴルフ	宗岡富子選手
インディアカ	こころ

(3) 美術展

①出品

シルバー作品展で最優秀賞を受賞した日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の各2作品を出品

②入賞

書の部〈銅賞〉	佐藤 孝 氏(由布市)
写真の部〈銅賞〉	鹿島 ユキノ氏(大分市)

3 地域活動グループリーダー育成事業

(1) 生きがい健康づくり推進協力員新人養成研修会、フォローアップ研修会

期 日 平成26年12月19日(金)
場 所 中津体育センター
参 加 者 37名
内 容 ①講義「みんなで学ぼうメンタルヘルス」
②理論と実技「すぐに使えるニュースポーツと
レクリエーション」

(2) 生きがい健康づくり推進協力員地区別フォローアップ研修会

- ①中津地区 期 日 平成26年11月7日(金)
場 所 中津市体育センター
参 加 者 150名
内 容 フォークダンスの集い
- ②豊後高田地区 期 日 平成27年2月24日(火)
場 所 豊後高田市丘の公園
参 加 者 60名
内 容 高齢者健康づくりグラウンド・ゴルフ大会
- ③臼杵地区 期 日 平成27年3月9日(月)
場 所 臼杵市北海添老人憩いの家
参 加 者 75名
内 容 豊の国生きがい健康づくり講演会
- ④中央地区 期 日 平成27年3月10日(火)
場 所 大分県総合社会福祉会館
参 加 者 47名
内 容 レクリエーション指導者養成講座

(3) 推進協力員地区研修会

4地区、指導者12名、参加者332名

4 生きがいと健康づくり事業の普及・啓発

ホームページによる情報提供

- ① 第25回豊の国ねりんピック
- ② 第25回豊の国ねりんピックシルバー作品展
- ③ 第27回全国健康福祉祭とちぎ大会
- ④ ニュースポーツ用具の貸し出し

ほか

5 ニュースポーツ用具の貸し出し

(1) 用具の貸出回数 153回

(2) 延べ利用人数 5,703名

用具一覧

1	オーバーボール	15	ペタンク
2	カローリング	16	ポケネット
3	グラウンドゴルフ	17	輪投げ
4	ゲーゴルゲーム	18	フライングディスク
5	じゃんけんペタンコ	19	囲碁ボール
6	ストライクトレーナー	20	ビーンボウリング
7	スマイルボウリング	21	ユニカール
8	ソフトペタンク	22	絵手紙セット
9	ターゲットバードゴルフ	23	カラー玉入れ
10	クロリテー	24	ラガーゲッター
11	チームラビリンス	25	ターゲットゲーム
12	バグジー		
13	ヒットだ!ターゲット		
14	フリーブロー		

6 全国会議・研修会

(1) 全国明るい長寿社会づくり推進機構会議

① 全国健康福祉祭担当係長会議

5月7日(水)～8日(木) 栃木県宇都宮市

② 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

7月10日(木)～11日(金) 東京都 ※台風接近により不参加

③ 全国明るい長寿社会づくり推進機構職員等研修会

12月9日(火)～11日(木) 東京都

④ 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

平成27年2月19日(木) 東京都

(2) 九州ブロック明るい長寿社会づくり推進機構会議

九州地区明るい長寿社会づくり推進機構実務者会議

平成27年1月28日(金)～1月29日(日) 鹿児島県

ボランティア・市民活動センター

ボランティア・市民活動の推進を図るため、ボランティアリーダーやコーディネーター等の人材育成を図ったほか、各種ボランティア研修を行うとともにボランティアや市民活動に関する情報提供を行った。

福祉教育においては、福祉ボランティア体験学習等を通じてボランティア活動の振興を図った。

また、災害ボランティアの体制整備、「災害ボランティアネットワーク」の拡充を図るために、災害ボランティア体験型研修会を行った。

1 ボランティア・市民活動の推進

(1) ボランティア等の人材育成

市町村社会福祉協議会と連携を図り、地域のボランティア・NPO活動を推進するため、各研修会・講座等を開催した。

①ボランティアコーディネーター研修会

大分県内の福祉施設や社会福祉協議会等で、ボランティアの受入などコーディネーター担当者の資質の向上を図ることを目的に研修を行った。

開催日 平成26年 7月 1日(火)

場 所 県総合社会福祉会館 3階大会議室

参加者 32名

内 容 講義・ワークショップ「ボランティアコーディネーターの心構えと技法」

講師 NPO法人ケア・センターやわらぎ 代表 石川治江 氏

②福祉ボランティアリーダー養成講座

ボランティア団体の設立・運営・活動活性化方法等専門的な知識を習得した福祉ボランティアリーダーを養成し、中核的なボランティア団体の増加を図ることを目的に、延べ5日間の日程で開催した。

開催日 ①平成26年10月 6日～ 7日

②平成26年11月 7日

③平成27年 2月 2日～ 3日

場 所 県総合社会福祉会館 3階大会議室

参加者 ①15名 ②28名 ③8名

内 容 講義及び演習

講師 NPO法人ケア・センターやわらぎ 代表 石川治江 氏

③福祉ボランティア専門研修

県内で活動している地域福祉活動団体に対し、より高い専門性を持った人材を育成することを目的に研修企画を公募し、目的に沿った団体に研修を委託した。

審査会 平成26年 6月 9日(月)

委託先 7団体(1団体への研修委託金上限300千円)

年度	24年度	25年度	26年度
申請団体(件)	8	8	10
実施団体(件)	8	7	7

↓

団体名	研修内容
写真ボランティアグループ(シャボラン)	肖像(遺影)写真撮影スキルアップ研修
AmaRi	AmaRiケア専門スタッフ育成プロジェクト事業
子育て応援ワクワクピース	子育て応援サポーター・まま起業支援研修 ～心理学・コーチング・脳の特性を活かして～
福祉フォーラムin別府・速見実行委員会	障がい者等の防災を考える研修
中津市社会福祉協議会	サロン活動者人材育成専門研修
こうざき校区社会福祉協議会	基礎スキルの向上を図り、ボランティア「力」を高め地域課題に応える
たすけあい組織鼓樓	生活支援ボランティア育成研修

(2) 市町村ボランティア・市民活動の支援

①市町村社協ボランティア担当者会議

住民のボランティア活動推進を活性化させるため、市町村社協ボランティア担当職員と事業等に関する事業説明及び意見交換を行った。

開催日 平成26年 5月14日(水)

場 所 県総合社会福祉会館 3階大会議室

参加者 ボランティア担当者会議 22名

パソコン研修会 18名(市町村社協ボランティア担当職員)

内 容 ア) おおいたボランティア・NPOセンターの紹介

イ) 平成26年度センター事業計画について

ウ) 2014年夏のボランティア体験月間について

エ) 質疑応答

オ) 研修会

・eコミマップの活用術

・Facebookの活用術

②市町村ボランティア・市民活動推進のための「出前講座」の開催

地域でのボランティア・市民活動にどう取り組めばよいか、取り組む際の課題

への対応、団体や組織としての連携のあり方など、活動上の悩みをどのように解決するかに応え、活動を促進するための出前講座を開催した。

期 日 平成26年 9月 7日(日)～ 9日(火)

開催地 7日・別府市 参加者36名

8日・津久見市

大分市 参加者59名

9日・中津市 参加者31名

講 師 I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所]

代表 川北秀人 氏

(3) ボランティア・市民活動団体の育成

大分県ボランティア連絡協議会への支援

①総会及び講演会の開催

開催日 平成26年 5月21日(水)

場 所 県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加者 市町村ボランティア連絡協議会会員及び社協職員77名

内 容 総 会 ①平成25年度事業報告・決算について(監査報告)

②役員改選について

③平成26年度事業計画・予算(案)について

講演会 テーマ「元気が出る地域づくりにむけて

～地域づくり活動への想い」

講師：朝地フレンドクラブ 事務局長 森誠一 氏

②理事会の開催

第1回 平成26年 5月21日(水)

第2回 平成26年11月 6日(木)

第3回 平成27年 3月 9日(月)

③ブロック別研修会の開催

ア) 県北ブロック 開催日 平成26年11月 5日(水) 中津市

場 所 中津市教育福祉センター・多目的ホール

内 容 事例発表、町づくり散策、交流会

参加者 79名

イ) 別杵東速ブロック 開催日 平成26年11月 4日(火) 姫島村

場 所 姫島村離島センター やはす

内 容 講話、ジオパークめぐり

参加者 37名

ウ) 大分ブロック 開催日 平成26年10月29日(水) 大分市

場 所 大分県総合社会福祉会館4階

内 容 講演、グループワーク、意見交換

エ) 豊肥ブロック	参加者	59名
	開催日	平成26年11月26日(水) 竹田市
	場所	竹田市総合社会福祉会館 多目的ホール
	内容	講演、グループワーク、意見交換
	参加者	84名
オ) 日田玖珠ブロック	開催日	平成26年11月22日(土) 日田市
	場所	大山文化センター
	内容	アトラクション、活動発表、講演
	参加者	110名
カ) 県南ブロック	開催日	平成26年 9月 8日(月) 津久見市
	場所	市民ふれあい交流センター
	内容	講演会、鉱山見学
	参加者	58名
	合計	427名

④市町村ボランティア連絡協合同研修会

県内で1泊2日の研修会を開催した。

期 日 平成26年12月 4日(木)～ 5日(金)

場 所 NBU日本文理大学湯布院研修所(由布市)

参加者 60名

内 容 1) 講演「魅力あるまちづくりに向けて」

講師：由布院温泉観光協会 会長

由布院玉の湯 代表取締役社長 桑野和泉 氏

2) 活動事例発表

①「39年目のボランティア活動」

臼杵市ボランティア連絡協議会 佐藤繁子 さん

②「連携して行うボランティア」

日田市ボランティア連絡協議会 金古行雄 さん

③「大分市ボランティア連絡協議会の概要と活動内容」

大分市ボランティア連絡協議会 岡部敏明 さん

3) 分散会(グループ討議)

「ボランティア活動における現状と課題」

4) 交流情報交換会

5) レクリエーション

「ノルディック・ウォークで健康力アップ！」

指導講師：大分県ノルディック・ウォーク連盟

コースガイド：湯布院ガイドあさぎり会

(4) 大分県ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

第1回 平成26年 6月 3日(火)

場 所 県総合社会福祉会館 3階中会議室
内 容 ①平成25年度事業報告について
②平成26年度事業計画について
③ふくしまっ子応援プロジェクトⅣについて

第2回 平成26年12月 2日(火)
場 所 県総合社会福祉会館 3階中会議室
内 容 ①平成26年度事業の進捗状況について
②今後の事業実施予定について

第3回 平成27年 3月11日(水)
場 所 県総合社会福祉会館 2階視聴覚室
内 容 ①平成26年度事業実施報告について
②平成27年度事業実施計画(案)について

2 ボランティア・市民活動の啓発促進

(1) 第11回大分県ボランティア・NPO推進大会の開催

①現地会議 第1回 平成26年 5月27日
第2回 平成26年 7月 7日
第3回 平成26年 9月 2日
第4回 平成26年10月 3日

②大 会

期 日 平成26年10月19日(日)
場 所 宇佐市平成の森公園「石橋童夢」
参加者 約800名(県内ボランティア・NPO団体・社協他)
内 容 基調講演「” せわしい” くらいが丁度良い!?
関わり、繋がり、支えあいで築く笑顔の輪」
東九州短期大学教授 松田順子 氏
コピーライター 吉田 寛 氏
報告「被災者に寄り添った災害ボランティア活動の振興」
大分県ボランティア・市民活動センター所長 甲斐賢二
活動事例発表
①深見小学校(地域の活性化)
②介護予防体操
③石楠花
④津軽三味線・民謡 きわ禮会
⑤津軽三味線 三尚会
⑥NPO法人 FOR ONE
⑦藤間雪音の会
⑧院内石橋ボランティア

- (2) ボランティア・市民活動センター機能の充実
 コーディネート・広報紙等による情報発信などを行った。
- ①ボランティアコーディネート
 登録者（新規）個人85件・団体18件、依頼者（新規）44件
- ②ボランティア・NPOからの相談受付
 各種相談を受付、情報提供等を行った。
 相談件数 4,886件（電話、メール、来所）
- (3) 広報紙「ぼらのたね」の発行（700部）
 No.26：平成26年8月発行
- (4) ボランティア・市民活動情報サイト「ぼらのたNET」の充実
 ボランティア・助成金・講座・お知らせ等に関する各種情報を発信した。
 発信件数 239件、アクセス数 87,780件
- (5) Facebookの開設、情報発信
 今年度より大分県ボランティア・市民活動センターのFacebookを開設し、各種情報発信を行った。
 発信件数 154件、 いいね!の数 80件
- (6) おおいたNPO情報バンク「おんぼ」の管理等
 おおいたボランティア・NPOセンターと連携を図りながら、おもにボランティア情報について担当し、情報発信を行った。
- (7) ボランティア・市民活動ルーム利用管理
 ボランティアグループ、市民活動団体に部屋及びコピー機の貸出を行った。
 利用件数 102件、利用者数 延べ549名
 利用目的 ミーティング、作業、印刷、その他（学習会等）
- (8) ボランティア保険受付業務
 各種ボランティア保険の受付を行った。
- ①ボランティア活動保険 87件（1,127名）
 ②ボランティア行事保険 110件
 ③福祉サービス総合補償 6件
 ④送迎サービス補償 2件
- (9) その他
 ①ボランティアグループ名簿（27年3月発行）の作成・配布

②県社協広報誌「大分社会福祉（だいふく）」への寄稿

3 福祉教育の推進支援

福祉体験学習（体験・交流活動等）を通じ、県内の小・中・高等生に福祉への関心や理解の醸成を図った。また、県内の学生や社会人に、夏休みを中心に福祉施設等でのボランティア体験をしてもらいボランティア活動への振興を図った。

(1) 青少年福祉体験教室（福祉施設等での1日体験学習）

ア) 実施数 5回（小学校4回102名、中学校1回11名）

イ) 参加者数 113名

(2) ふれあい学習

学校で障がい者自身の体験談等の講演や児童・生徒が擬似体験等を行うことにより、障がい者への理解と児童・生徒との交流を深めた。

ア) 実施数 18回（小学校16回788名、中学校2回94名）

イ) 参加者数 882名

(3) 夏のボランティア体験月間事業の普及促進

①期 間 7月18日～8月31日

ア) 参加者 1,428名

（高校生998名、大学生等196名、社会人55名、その他179名）

イ) 参加施設数 416施設

	24年度	25年度	26年度
参加者数（人）	1,193	1,296	1,428
参加施設数（カ所）	448	427	416

②説明会の開催 5月14日（水）市町村社協ボランティア担当者

③報告会の開催 10月24日（金）市町村社協ボランティア担当者

(4) 福祉教育研究発表会

期 日 平成26年11月16日（日）

場 所 県総合社会福祉会館 3階中会議室・4階大ホール

参加者 57名（学生及び教職員、福祉教育関係者・ボランティア等）

内 容 実践発表 ①大分市立上戸次小学校

②大分市立滝尾中学校

③大分県立国東高等学校

講 演「生かされて今、輝く命」

講師 元幼稚園教諭・保育士 又野亜希子 氏

4 企業・団体等のボランティア・市民活動支援

(1) 企業・団体の社会貢献・ボランティア活動研修会

期 日 平成27年 3月14日(土)
場 所 豊後大野市中央公民館 他
参加者 53名(NPO法人・企業・行政・社協職員・地域住民等)
内 容 講義「ボランティア活動について」
大分県ボランティア・市民活動センター 甲斐所長
活動報告「三重川を守る会の活動について」
三重川を守る会 事務局長
活動拠点見学「みえっ粉石けん工房」
三重町くらしを考える会 会長
大野川支流の三重川河川敷等の清掃活動(約1km)

(2) 住民参加型在宅福祉サービス研修会

開催日 平成26年11月17日(月)
場 所 県総合社会福祉会館 3階大会議室
参加者 28名
内 容 活動発表 たすけあい組織鼓楼 代表 田原京子 氏
講義と演習
講師 ケア・センターやわらぎ 代表 石川治江 氏

(3) 新・地域の助け合い活動推進セミナー

開催日 平成27年 3月19日(木)
場 所 トキハ会館 5階カトリアの間
参加者 88名
内 容 講演「よろず相談信用金庫の地域貢献(密着)活動」
講師 但陽信用金庫 理事長・NPO法人但馬ボランティア
センター 代表 桑田純一郎 氏
事例リレー発表
図書館ボランティア、生涯学習ボランティア、
ごみゼロ大分推進隊、少年警察ボランティア、
大分県勤労者医療生活協同組合、NPO法人たすけあい組織鼓楼、
NPO法人福祉コミュニティKOUZAKI、
大分県ボランティア連絡協議会
交歓会

5 災害ボランティア活動の推進

(1) 災害ボランティアネットワーク体制の充実

①大分県災害ボランティアネットワーク運営委員会の開催

第1回 平成26年 6月11日(水)

場 所 県総合社会福祉会館 3階会議室3

参加者 災害ボランティア登録者、医療機関、施設、社協、行政等

内 容 ①事業説明「平成26年度事業計画について」
②大分県災害ボランティア体験型研修会の開催について
③大分県専門ボランティア災害時支援活動登録制度について

第2回 平成27年 1月15日(木)

場 所 県総合社会福祉会館 3階会議室3

内 容 ①事業の進捗状況について
②大分県災害ボランティア体験型研修会の開催について

第3回 平成27年 3月12日(木)

場 所 県総合社会福祉会館 3階会議室3

内 容 ①平成26年度事業報告について
②平成27年度事業計画について

②大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会

期 日 平成27年 2月26日(木)

場 所 県総合社会福祉会館 4階大ホール

内 容 ①平成26年度事業報告について
②平成27年度事業計画(案)について
③その他
④意見交換

(2) 実践的災害ボランティア体験型研修会の開催

①大分県災害ボランティア体験型検討委員会

第1回 平成26年10月 3日(金)

第2回 平成26年11月28日(金)

第3回 平成27年 1月20日(火)

第4回 平成27年 2月13日(金) ※報告会

②体験型研修会

期 日 平成27年 1月25日(日)

場 所 県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加者 62名(災害ボランティア登録者、医療機関、施設、社協、行政等)

内 容 避難所運営訓練

(3) 大分県災害ボランティア運営支援事業

①災害ボランティアセンター運営リーダー研修会

第1回 平成26年 6月25日(水)～26日(木)

場 所 大分銀行ドーム 会議室B1-406、希感舎(大分市)
県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加者 36名

内 容 講義「災害発生時の対応とボランティアネットワーク」
講師 さくらネット 代表 石井 布紀子 氏
事業説明、車座トーク、活動報告、パネルディスカッション、
ワークショップ、ディスカッションほか

第2回 平成26年10月16日(木)

場 所 県総合社会福祉会館 3階大研修室

参加者 24名

内 容 講義「避難行動計画作成マニュアル」を用いた模擬講義等の実践
講師 さくらネット 代表 石井 布紀子 氏
講義、ワークショップ、プレゼンテーション

第3回 平成27年 3月 3日(火)

場 所 県総合社会福祉会館 3階大研修室

参加者 18名

内 容 講義「災害対応のこれからと、社協・VCのあり方」
講師 さくらネット 代表 石井 布紀子 氏
グループワーク「ネットワークづくり・マニュアル作成進捗等」

②災害ボランティアセンター運営リーダーステップアップ研修会

期 日 ①第1・2回 平成26年11月25日(月)～26日(火)

②第 3回 平成26年12月 9日(火)～10日(水)

③第4・5回 平成27年 2月 9日(月)～10日(火)

場 所 ①県総合社会福祉会館4階
②佐伯市上浦B&G海洋センター
③県総合社会福祉会館4階

参加者 ①30名 ②40名 ③13名

内 容 ①日本財団 次の災害に備えるための人材研修会
②日本財団 次の災害に備えるための「被災者支援拠点」運営訓練
③日本財団 次の災害に備えるための災害時エリアマネージャー養成研修

③災害ボランティアセンター運営スタッフ研修会

- 第1回 平成26年11月5日(水)
 場所 県総合社会福祉会館 4階大ホール
 参加者 62名
 内容 ①被災地支援活動の報告会
 ②グループワーク「被害想定から被災者支援を考える」
 ③グループワーク「災害ボランティアセンターの配置等を考える」

講師：平成26年度被災地現地研修参加者

中津市社会福祉協議会 島元 卓也 氏
 中津市社会福祉協議会 井ノ口洋一 氏
 日田市社会福祉協議会 江藤 武彦 氏
 宇佐市社会福祉協議会 桑原 一博 氏
 国東市社会福祉協議会 宮田太一郎 氏
 玖珠町社会福祉協議会 長 千和 氏
 大分県社会福祉協議会 西村 真弘
 大分県災害ボランティアセンター運営研修会検討委員
 中津市社会福祉協議会 吉田 瑞穂 氏
 竹田市社会福祉協議会 水野 匡也 氏
 大分県消費生活・男女共同参画プラザ 安倍 誠 氏
 大分県社会福祉協議会 村野 淳子

④市町村災害ボランティアネットワーク会議

大分県災害ボランティアネットワークの地域版を想定したネットワークづくり。各振興局単位で推進会議を開催。

東部振興局…別府市、杵築市、国東市、日出町、姫島村

中部振興局…大分市、臼杵市、津久見市、由布市

豊肥振興局…竹田市、豊後大野市

南部振興局…佐伯市

西部振興局…日田市、九重町、玖珠町

北部振興局…中津市、豊後高田市、宇佐市

第1回 平成26年 7月 3日～ 7月16日、県内7か所で開催

第2回 平成26年 9月16日～ 3月29日、県内9か所で開催

⑤災害ボランティアセンター運営現地研修（派遣研修）

第1回 平成26年 8月11日～16日（6日間）

場所 徳島県社会福祉協議会 徳島県災害ボランティアセンター他

人数 5名

内容 現地業務支援（徳島県那珂郡那賀町）、視察研修 等

第2回 平成26年 9月13日（日）～16日（水）

場所 広島市社会福祉協議会（安佐南区社協災害ボランティアセンター）

人 数 1名
内 容 現地業務支援、視察研修 等

(3) 平成26年度大分県中部地域総合防災訓練

災害時の市町村社協職員同士の連携強化及び役割確認等を行った。

期 日 平成26年 8月30日(土)

場 所 大分市、由布市(災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等)

(4) その他

- ①災害時要援護者支援体制整備への参画(自治体、自治会、各種団体の研修会等)
- ②大分県災害ボランティアの新規登録
- ③全国被災地への支援(ボランティア、運営支援者等コーディネートなど)

6 その他

(1) ふくしまっ子応援プロジェクトⅣ

日 程 平成26年 7月24日(木)～28日(月)

参加者 福島県相馬郡新地町の小学生(5・6年生)18名と引率者2名
県内避難者家族3名(25日)

内 容 西日本新聞社制作センター社会見学、日田市歓迎レセプション及びレクリエーション、日田祇園集団顔見世見学、城島高原パーク、大分市レクリエーション、工作づくり、うみたまご、海水浴、カヤック・シュノーケル、ネイチャーゲーム、アイスクリームづくり、大分市温泉入浴体験、ホームステイ、歓迎夕食交流会、うきは市ブルーベリー狩り、宗像市地引網漁体験、北九州市環境ミュージアム見学、太宰府天満宮参拝及び梅ヶ枝餅作り体験学習、福岡空港お別れ式

(2) 全国ボランティアコーディネーター研究集会2015への参加

期 日 平成27年 2月28日(土)～ 3月 1日(日)

場 所 大阪府大阪市 ドーンセンター他

参加者 事務局

生活支援部

あんしんサポートセンター

日常生活自立支援事業を推進し、福祉サービス利用者の権利擁護に努めた。

1 日常生活自立支援事業の推進

(1) 相談受付件数及び契約・解約の状況

①相談受付の状況（平成26年4月～平成27年3月末）

	初回相談件数
相談の受付	408 件

②契約締結の状況（平成26年4月～平成27年3月末）

契 約	締 結 ①	解 約 ②	合 計 ①－②
	188件	161件	27 件

【累計】

①相談受付の状況（平成11年10月～平成27年3月末）

	初回相談件数
相談の受付	4,943 件

②契約締結の状況（平成11年10月～平成27年3月末）

契 約	締 結 ①	解 約 ②	現在締結件数 ③ (①－②)
	2,051件	1,313件	738 件

(2) 大分県契約締結審査会の開催

当審査会は、3カ月に1回を基本に開催し、生活支援員による調査の結果、利用者の判断能力に疑義が生じた案件等について諮った。

また、既契約締結済の利用者について、定期的な支援計画の見直しを行った。

開 催 日	審査件数
5月 9日	3 件
8月27日	2 件
11月20日	2 件
2月20日	4 件
合 計	11 件

(3) 関係機関との連携

関係機関連絡会議を開催し、日常生活自立支援事業に関する意見交換等を行った。

日常生活自立支援事業関係機関連絡会議

期 日 : 平成26年11月28日(金)

会 場 : 県総合社会福祉会館 4階大ホール

内 容 : ア. 日常生活自立支援事業実施状況について
イ. 本県における日常生活自立支援事業の現状と課題
ウ. 質疑・協議

参加者数 : 17名

(4) 会議・研修会の開催

各種研修活動等を通じ、県社協職員及び市町村社協職員(生活支援専門員・生活支援員)の資質向上に努めた。また、事業実施体制の充実に努めるため、事業担当職員連絡協議会を開催し、事業実施について協議を行った。

① 第1回日常生活自立支援事業担当職員研究協議会

期 日 平成26年7月7日(月)

会 場 県総合社会福祉会館

内 容 【研究協議】

ア. 日常生活自立支援事業の現状と動向

イ. 研究協議

ウ. 事務連絡

参加者 23名

② 第2回日常生活自立支援事業担当職員研究協議会

期 日 平成26年12月19日(金)

会 場 県社会福祉介護研修センター

内 容 【研究協議】

ア. 日常生活自立支援事業の動向について

イ. 事務連絡

ウ. 質問事項・協議

エ. 研究協議「日常生活自立支援事業推進マニュアルの見直し(案)について」

参加者 15名

③ 第3回日常生活自立支援事業担当職員研究協議会

期 日 平成27年 3月26日 (木)

会 場 県総合社会福祉会館

内 容 【研究協議】

ア. 日常生活自立支援事業の予算の動向等について

イ. 業務システムの導入について

ウ. 事業推進マニュアルの見直しについて

エ. 情報交換・意見交換

参加者 17名

④ 日常生活自立支援事業新任担当職員研修会

期 日 平成26年 5月14日 (水)

会 場 県総合社会福祉会館

内 容 ア. 日常生活支援事業の概要

イ. 専門員の役割

ウ. 専門員の業務

エ. 実務について

オ. 意見交換

参加者 15名

④ 生活支援員等事業関係職員研修会の開催

期 日 平成27年 1月22日 (木)

会 場 県総合社会福祉会館

内 容 【講義・演習】「その人と家族と地域を支える権利擁護」

参加者 75名

⑤ 日常生活自立支援事業生活支援員養成研修会の開催

生活支援員として職務を担う人材を各地域において養成するため、日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の概要と実務、専門員および生活支援員の役割など研修を開催した。

期 日	会 場	参加者数
4月22日	竹田市総合社会福祉センター	2名
6月30日	別府市社会福祉センター	5名
9月30日	佐伯市和楽	15名
2月26日	ホルトホール大分	15名

※ 各圏域においても生活支援専門員・生活支援員の資質の向上を図るためブロック別研修会を開催した。

(5) 各種会議・研修会等への出席

< 県外 >

- ① 全国都道府県部課所長会議 (平成26年4月24日～25日)
- ② 全国日常生活自立支援事業担当部課長会議
(平成26年5月29日～30日)
- ③ 社協活動全国会議 (平成26年6月12日～13日)
- ④ 九州ブロック地域福祉研究会議 (平成26年6月26日～27日)
- ⑤ 全国都道府県部課所長会議 (平成27年2月9日)

< 県内 >

- ① 東部圏域ネットワーク会議
- ② 北部圏域ネットワーク会議
- ③ 臼杵成年後見フォーラム
- ④ 大分市社協法人後見検討会
- ⑤ 大分市社協やすらぎ支援事業会議
- ⑥ 成年後見制度関係機関連絡会議

(6) 普及・啓発

① パンフレットの配布

各市町村社協、県・市町村行政、社会福祉施設、金融機関、医療機関、民生委員、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等関係機関にパンフレットを配付し、事業の周知を図った。

② 各種研修会等での事業説明

市町村社協、県・市町村、地域包括支援センター、介護支援専門員等関係者の参集する各種会議・研修会の場において、本事業の説明を行った。

開催日等	会議・研修名称	会場	参加人数
8月5日	臼杵市市民後見人養成講座	臼杵市社会福祉センター	20名
9月20日	中津市市民後見人養成講座	中津市教育福祉センター	20名
10月21日	大分豊寿苑職員研修会	おおいた豊寿苑	120名
11月16日	市民後見人養成講座	アートプラザ	20名

(7) 諸課題への対応

① 市町村社協を訪問して現状・課題等の聴き取り調査の実施

平成27年4月施行の生活困窮者自立支援事業の受託推進と併せて、日常生活自立支援事業を受託している市町村社協の事務担当者等に事業実施の現状と課題等について聴き取り調査を行った。

書面調査 平成26年5月26日締め切り

訪問期間 平成26年7月11日～平成26年8月4日

課題のとりまとめ 平成26年8月25日

② 諸課題への対応

ア. 「大分県日常生活自立支援事業推進マニュアル」の見直し

平成27年4月施行の生活困窮者自立支援事業との関連から、事務負担の軽減を目的に、事務担当者による研究協議会を経て、事務手続きの改善並びに諸様式の見直しを行った。

イ. 業務システム導入の検討

契約件数が年々増加していることへの対応として、大分県内全ての市町村社協と県社協とを業務システムで結ぶネットワーク構築を検討した。

ウ. 他県社協の事業実施状況の調査

日常生活自立支援事業を全ての市町村社協に委託している県社協の現況調査を行った。

宮崎県社協 平成26年 9月24日(水)

熊本県社協 平成26年10月 3日(金)

エ. 住民税非課税者(生活保護受給者を除く)への利用料減免の廃止

利用促進を目的に、平成13年7月1日(平成17年4月1日一部変更)から利用料の一部を減免してきたが、契約件数も増加しており、当初の役割を終えたことから利用料減免を廃止した。

施行期日 平成27年4月1日

オ. 市町村社協への業務委託料の見直し

生活困窮者自立支援制度の本格施行に併せ、これまで契約件数の増大に伴い増額となる委託料の配分構造を、基本額や人口按分、契約件数按分等による配分方法への見直しを行った。

2. 権利擁護・成年後見推進事業

(1) 権利擁護・成年後見セミナー

権利擁護に係る制度や関係機関が果たす役割、権利擁護のあり方について再確認するとともに、今後の行政・関係機関・専門職相互の連携のあり方、取り組みの方法を考え、権利擁護活動の普及啓発を図るため、大分県地域生活定着支援センターとの共催により権利擁護・成年後見セミナーを開催した。

「依存症」と「本人・家族・支援者」への理解

日 時	平成26年10月18日(土) 13:30～16:30
会 場	大分県総合社会福祉会館
内 容	第Ⅰ部 基調講演「性犯罪加害者における処遇の現状と課題」 講師：福井裕輝 氏 第Ⅱ部 シンポジウム「依存症からの立ち直り」 シンポジスト 多田隈 淳 氏 (福岡矯正管区成人矯正第二課) てつ 氏 (AAのメンバー) 鈴木貴博 氏 (大分ダルク施設長)
参加者	185名

(2) 権利擁護・成年後見推進連絡会議の開催

期 日	平成26年11月28日(金) 15:00～16:30
会 場	県総合社会福祉会館
内 容	・権利擁護・成年後見推進事業について ・日常生活自立支援事業の実施状況について ・質問事項・協議内容
参集団体	福祉行政関係機関、福祉関係団体、司法関係機関等
参加者	15名

3. 大分あったか・は一と駐車場利用証の交付状況

(1) 年度別・障がい等区分別の交付数

年度 区分	26	25	24	23	累計
身体障がい者	1,617	1,538	1,869	2,424	7,448
知的障がい者	40	43	55	78	216
精神障がい者	7	4	3	4	18
高齢者	198	121	113	105	537
難病患者	90	81	89	61	321
妊産婦	694	466	294	123	1,577
けが人	15	9	10	9	43
その他	58	47	58	47	210
合計	2,719	2,309	2,491	2,851	10,370

(2) 利用証種類別の交付数

年度 区分	26	25	24	23	累計
車いす使用者	264	215	354	367	1,200
車いす使用者以外の障がい者等	1,711	1,597	1,802	2,326	7,436
妊産婦等	744	497	335	158	1,734
合計	2,719	2,309	2,491	2,851	10,370

福祉資金課

生活福祉資金貸付事業は、今年4月1日から施行の生活困窮者自立支援制度の一翼を担うということが、生活福祉資金貸付制度要綱の一部改正のなかに盛り込まれ、両制度が密接な連携を図りながら総合支援資金と緊急小口資金（臨時特例つなぎ資金）については、新制度のなかの自立相談支援制度の利用を要件とすることになった。については、本会としても円滑な事業実施のために、2月の担当者会議で制度説明を行い、両資金の取扱いの通知を送付するなどした。

また、本県の資金貸付の動向としては、総合支援資金が昨年度に比較すると半減しており、その他で福祉費と緊急小口資金も減少し、前年度比76件の減少となった。これは、少しずつではあるが景気の回復していることが影響しているものと考えられる。

1 生活福祉資金貸付事業の運用強化

(1) 委員会の開催 ※ () H25年度実績

①生活福祉資金貸付審査等運営委員会	12回	(12)回
②生活福祉資金貸付審査等運営委員会小委員会	8回	(12)回
③不動産担保型資金審査会	2回	(2)回

(2) 借入申請・決定状況

①生活福祉資金 (単位：千円)

資金種類	申 請		決 定	
	件 数	金 額	件 数	金 額
1 総合支援資金	39	14,154	35	11,608
(1) 生活支援費	30	12,051	29	10,188
(更新分)	(1)	558	(1)	558
(2) 住宅入居費	4	594	3	426
(3) 一時生活再建費	5	951	3	436
2 福祉資金	550	62,834	549	61,422
(1) 福祉費	77	31,905	76	30,493
(2) 生活復興支援資金	0	0	0	0
(3) 緊急小口資金	473	30,929	473	30,929
3 教育支援資金	75	21,554	69	20,037
(1) 教育支援費	29	8,204	26	7,592
(2) 就学支度費	46	13,350	43	12,445
4 不動産担保型生活資金	3	25,524	3	25,524
(1) 不動産担保型生活資金	1	12,624	1	12,624
(2) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金	2	12,900	2	12,900
計	667	124,066	656	118,591

②臨時特例つなぎ資金

(単位：千円)

資金種類	申請		決定	
	件数	金額	件数	金額
臨時特例つなぎ資金	13	591	13	591

(3) 生活福祉資金貸付決定件数・金額の推移

(単位：千円)

資金種類	平成26年度		平成25年度	
	件数	金額	件数	金額
1 総合支援資金	35	11,608	64	27,262
(1) 生活支援費	29	10,188	54	19,379
(更新分)	(1)	558	(15)	5,908
(2) 住宅入居費	3	426	5	1,069
(3) 一時生活再建費	3	436	5	907
2 福祉資金	549	61,422	592	62,589
(1) 福祉費	76	30,493	98	29,857
(2) 生活復興支援資金	0	0	0	0
(3) 緊急小口資金	473	30,929	494	32,732
3 教育支援資金	69	20,037	77	19,751
(1) 教育支援費	26	7,592	35	8,174
(2) 就学支度費	43	12,445	44	12,028
4 不動産担保型生活資金	3	25,524	0	0
(1) 不動産担保型生活資金	1	12,624	0	0
(2) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金	2	12,900	1	14,700
計	656	118,591	736	124,754

(4) 資金種類別償還率

(単位：円)

資金種類	償還計画額(A)	償還実績(B)	償還率(B/A)
総合支援資金	33,901,335	13,352,355	39.39%
更生資金	697,980	337,150	48.30%
(障害者) 更生資金	632,000	632,000	100.00%
福祉資金	25,762,989	20,958,772	81.35%
福祉資金(住宅)	357,120	327,360	91.67%
教育支援資金	38,898,900	26,601,570	68.39%
療養・介護等資金	404,380	133,060	32.90%
緊急小口資金	22,594,710	19,953,090	88.31%
生活復興支援資金	395,540	188,690	47.70%
離職者支援資金	1,471,770	292,090	19.85%
合計	125,116,724	82,776,137	66.16%

※ 期限内の健全債権に係る当年度の償還計画額・償還実績額・償還率を表示。

(5) 償還率

(単位：円)

償還計画額		償還済額		償還率		
現年度	累計	現年度	累計	現年	過年	累計
過年度		過年度				
152,309,704	10,206,072,765	83,424,233	8,776,102,234	54.8%	7.8%	85.9%
666,790,214		52,236,762				

(6) 償還免除申請等決定状況

① 償還免除

決定件数	53件	(33) 件
元 金	41,193,943円	(15,662,377) 円
利 子	3,327,893円	(1,407,954) 円
延滞利子	62,117,009円	(32,136,805) 円

② 延滞利子免除

決定件数	38件	(49) 件
決定金額	5,433,346円	9,131,959円

③ 償還猶予

決定件数	12件	(11) 件
------	-----	----------

(7) 生活福祉資金債権管理強化推進事業

滞納を続けている債務関係者に対する戸別訪問等による督促や、転居先の住民票請求による所在調査を実施した。

(8) 償還指導の実施

①面接指導回数	129回	(51) 回
②面接指導件数 (延べ)	324件	(373) 件

(9) 研修会等の実施

①市町村社協事務担当職員会議	2回	(2)
②民生委員ブロック別研修会での制度説明	9回	(9)
③民生委員研修会・会議等での制度説明	4回	(6)

(10) 広報の実施

- ①広報用パンフレットの配布
- ②ホームページによる情報提供

(11) 全国及び九州ブロック会議等への参加

- ①全国生活福祉資金貸付事業担当職員研修会
- ②全国生活福祉資金担当部課長会議
- ③九州ブロック生活福祉資金運営研究協議会

(12) 会計検査院検査

平成27年1月13日に、会計検査院の实地検査があった。

(13) 生活再建・償還相談事業

①対象世帯（先）数

滞納が初期段階と概ね6か月以上滞っている世帯（先）を中心に実施。

②取組内容

- 訪問、面談による償還相談
- 償還相談会
- 負債内容、償還実績および今後の償還計画に関する通知
- 誓約書等を提出した返済合意先の期日管理（電話、通知、再面談等）

③償還相談、償還指導の取り組み ※別表参照

ア. 訪問または面談先数(延べ数)

訪問先数、延べ342先（うち面談数 129先）

イ. 償還相談会

開催回数 28回、対象者378名（借受人、連帯保証人）

ウ. 借受人または連帯保証人の現況および償還計画報告に関する通知
309件

④取組実績（内容）

貸付先訪問や償還要請を書面により通知することにより、生活福祉資金の返済に関する誓約書等受領および回収実績は、以下のとおりとなった。

①26年度生活福祉資金管理案件回収実績（継続管理中の25年度取扱案件も含む）

単位：円

大分市	別府市	杵築市・日出町	その他	計
14,730,383	5,381,539	3,552,366	4,640,380	28,304,668

②誓約書等受領件数（取組内容別）

訪問	郵便(通知書)	電話	面談	計
74	65	323	57	519

施設団体支援部

社会福祉法人の地域公益活動（社会貢献活動）の展開について、関係者による検討委員会を設置し、平成 27 年度の新規事業の実施に向けて研究・協議を行った。

種別協議会の支援を通じて、各種調査・研究活動、研修事業等を行うとともに、社会福祉法人等の抱える課題に対応したセミナーや経営指導事業を行った。

また、委託事業による球技大会等の実施や各種別協議会が主催する九州関係の研修や研究大会の運営を支援を行った。

1 社会福祉法人による地域公益活動（社会貢献活動）の検討

県社協及び経営協をはじめとする各種別協議会が連携・協働して行う「地域公益活動（社会貢献）事業」を検討するため、「社会福祉法人の社会貢献事業推進検討委員会」を設置し検討を行った。

(1) 社会福祉法人の社会貢献事業推進検討委員会の開催

年 4 回（5 月、7 月、11 月、3 月）

(2) モデル事業の実施

① 買い物弱者支援事業

大分市郊外での特養施設による買い物移動支援等の実施

② 生活困窮者支援事業

特養施設における「無料定額宿泊事業」の実施検討、ガイドライン作成

③ 芸術文化ふれあい支援事業

周辺地域の高齢者を大分市内で開催した芸術・文化行事に招待し、今後の社会福祉施設としての社会貢献のあり方についてアンケート調査を実施

(3) 人材養成の実施

社会福祉法人のコミュニティーソーシャルワーカー養成研修を 3 日間実施
30 法人 47 名受講修了

2 社会福祉施設経営指導事業

(1) 個別指導

社会福祉施設の適正かつ安定的な経営と入所者処遇の向上を図ることを目的に経営指導員による指導・助言を行った。

平成 26 年度の相談実績は 145 件となった。

相談実績

項 目	件 数 (件)	割 合 (%)
入所者処遇に関すること	49	33.8
施設経営に関すること	10	6.9

職員の処遇に関すること	19	13.1
会計及び経理に関すること	10	6.9
安全・防災に関すること	2	1.4
職員の処遇に関すること	19	13.1
その他の運営に関すること	52	35.8
合 計	145	100.0

(2) 集団指導「施設経営者及び若手幹部職員研修」

(3) 福祉施設「意見交換会」

3 社会福祉施設経営支援事業

社会福祉施設の健全かつ発展的な経営を目的とした各種研修会・セミナーを10回実施した。

①ホスピタリティを表現する接遇マナー研修 ②効果的な部下・新人育成の実務研修、③職場内研修の手法研修、④プロ意識醸成研修、⑤福祉業界におけるマーケティング研修、⑥クレーム対応研修、⑦福祉人材定着のための労務管理研修、⑧利用者満足（CS）向上研修会、⑨業務改善研修 ⑩知っておきたいSNS&コンプライアンス研修

4 義務教育教員免許志願者に対する介護等体験事業

教員の資質向上及び学校教育の一層の充実を図ることを目的に実施している本事業について21大学から370名の申込みがあり、各社会福祉施設での5日間の体験学習を実施した。

介護等体験修了者数

県内・県外の別	大学名等	体験者数(人)
県内	大分大学等 6大学	330
県外	京都外大等 15大学	40
総計	21学	370

5 児童福祉関係行事委託事業の実施

児童福祉施設や知的障がい施設の利用者に対し、各種スポーツ大会を実施した。

- (1) 平成26年度大分県知的障がい施設球技大会（ティーボール・グラウンドゴルフ）
- (2) 第53回大分県児童福祉施設等球技大会
- (3) 第50回大分県児童福祉施設等卓球大会

6 種別協議会等の運営の支援

(1) 大分県老人福祉施設協議会

① 各種会議等の開催

総会（1回）、正副会長会議（3回）、役員会（4回）、制度政策専門委員会（2回）、在宅専門委員会等（4回）、研修専門委員会（3回）、特養委員会

(3回)、軽費・ケアハウス委員会(3回)、デイサービス委員会(2回)

② 研修会等の開催

九社連老人福祉施設協議会職員研究大会、実践研究大会、特養視察研修、虐待防止研修、施設長研修(2回)、養護・ケアハウス研修、グループホーム・小規模多機能型居宅介護事業所研修(4回)、居宅介護支援・訪問介護事業所職員研修(3回)、法的トラブルセミナー、介護職員研修、メンタルヘルス研修、地域包括ケア研修

③ その他の活動

「介護って素晴らしいフォトコンテスト」の実施、デイサービスセンターのアンケート実施、法務対策協議会事業の実施、県福祉保健部職員施設体験実習の受入協力、介護保険制度に関する陳情、要望活動、県との意見交換会 等

(2) 大分県身体障害児者施設協議会

① 各種会議等の開催

施設長会(2回)

② 研修会の開催

県外視察研修の実施(東京 国際福祉機器展視察))

③ 国・県に対する要望活動の実施

④ 関係団体会議等への出席

⑤ 第38回九州地区救護施設職員研究大会の運営協力

(3) 大分県児童養護施設協議会

① 各種会議等の開催

施設長会(5回)、研修運営委員会(4回)、機関紙編集委員会(3回)

② 研修会等の開催

県外視察研修(鳥取子ども園)、新任職員研修会(2回)、調理師・栄養士等職員研修会、社会的養護を考える現場のトップセミナー、施設職員合同研修会、施設心理士連絡研修会(10回)、施設看護師連絡研修会(6回)

「おおいた子ども支援ネット」設立記念講演、児童ふれあい交流会

④ その他の活動

機関誌「ふうえる」の発行

国・県に対する要望活動の実施

⑤ 九社連児童養護施設協議会事務局支援

(4) 大分県知的障害者施設協議会

① 各種会議等の開催

総会(1回)、役員会(3回)、施設長会(2回)、研修委員会(2回)

② 研修会の開催

職員研修会(2回)

③ 各種スポーツ大会等の開催

第34回大分県ゆうあいスポーツ大会、第50回卓球大会、第18回施設利用者ボウリング大会、親善球技大会（ティーボール・グラウンドゴルフ）

- ④ その他の活動
国・県に対する要望活動の実施
- ⑤九州地区知的障害者福祉協会事務局支援

(5) 大分県就労支援事業所協議会

- ① 各種会議等の開催
施設長会（2回）、役員会（3回）、九州セルフ研究大会実行委員会（4回）
- ② 研修会・大会等の開催
九州セルフ研究大会の開催、見本市の開催
- ③ その他の活動
セルフ自動販売機設置事業の推進、セルフモールおおいた、官公需受注活動の推進（大分県共同受注事務局との連携会議開催）、大分ヒートデビルズとの連携（販売展示・販売会の実施）、工賃向上に向けた各種販売会の取り組み、国・県に対する要望活動の実施

(6) 大分県母子生活支援施設協議会

- ① 各種会議等の開催
総会（1回）、施設長会（1回）、運営委員会（1回）
- ② 研修会の開催
職員研修会

(7) 大分県里親会

- ① 各種会議等開催
理事会（4回）、総会（1回）
- ② 研修会等の開催
里親交流会
- ③ 里親サロン事業
- ④ その他の活動
里親促進事業の推進、会報「トライアングル」発行

(8) 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

- ① 各種会議等の開催
総会（1回）、理事会（3回）、幹事会（1回）
- ② 研修会等の開催
県内研修会、ブロック別研修会、九州ブロック地域包括・在宅介護支援センター協議会セミナーの参加
- ③ その他の活動
国、県、市町村に対する要望活動の実施

(9) 大分県社会福祉法人経営者協議会

- ① 各種会議等の開催
総会（1回）、役員会（3回）
- ④ 研修会の開催
防災士養成研修（3日間）、経営セミナー（2回）
- ③ その他の活動
経営協情報の提供
- ④ 国、県に対する要望活動の実施

(10) 大分県社会福祉法人経営青年会

- ① 各種会議等開催
総会（1回）、役員会（6回）
- ⑤ 研修会等の開催
4Eの会、経営研修会、知事、県福祉保健部との意見交換会

(11) 大分県生活サポート協会

- ①理事会等の開催
理事会（3回）、総会（1回）、生活サポート協会九州ブロック会議
- ②研修会
リスクマネジメント研修（1回）

福祉サービス評価センターおおいた

福祉サービスの質の向上及び利用者への情報提供を目的とする福祉サービス評価事業として、福祉サービス第三者評価及び地域密着型サービス等外部評価を実施した。

1 福祉サービス評価委員会の開催

回数	期 日	主 な 内 容
第1回	4月26日	(1)平成25年度事業実績及び決算見込について (2)平成26年度事業計画及び収支予算について (3)第三者評価及び外部評価受審状況等について
第2回	11月6日	(1)第三者評価及び外部評価受審状況等について (2)第三者評価共通項目の改定等について
第3回	11月21日	(1)第三者評価及び外部評価受審状況等について (2)平成27年度の受審促進に向けて (4)合同研修・意見交換会の開催(案)について

2 地域密着型サービス等外部評価審査委員会の開催

期 日	主 な 内 容
3月11日	(1) 評価センター事業経過報告 (2) その他

3 評価・調査実績

評価結果は、評価を受けた事業者の同意を得て独立行政法人福祉医療機構の WAM・NET や当センターのホームページに公表し、福祉サービス利用者へ情報提供を行った。

(1) 福祉サービス第三者評価

種 別	H26 件 数	H25 件 数	H24 件 数	H23 件 数
特別養護老人ホーム		1	1	3
通所介護	1	2	1	2
訪問介護	1		2	1
保育所		1	1	1
訪問看護				
居宅介護支援				
障害者支援施設	2			2

児童養護施設	4	3	2	
母子生活支援施設	1	2		
児童自立支援施設	1			
乳児院	1			
障害児入所施設	1	1		
医療型障害児入所施設		1		
計	12	11	7	9

(2) 地域密着型サービス等外部評価

種 別	H26 件数	H25 件数	H24 件数	H23 件数
認知症高齢者グループホーム	46	64	52	59
小規模多機能型居宅介護支援事業所	15	16	15	14
計	61	80	67	73

※平成22年度より、「大分県地域密着型サービス等外部評価実施要綱第3の2」の規定が適用された場合、外部評価実施回数が緩和されること（2年に1度受審）となった。

4 研修・会議の開催

研修名	期日	会場	参加者
社会的養護関係施設第三者評価事業調査者研修会	2月28日	別府亀の井ホテル	9名
大分県外部評価評価調査員研修会	10月10日	総合社会福祉会館	12名
大分県外部評価評価調査員意見交換会	1月30日	総合社会福祉会館	13名

5 研修等への参加

・第三者評価事業「評価調査者」継続研修会 2月24日

6 第三者評価機関に関する情報公開

当センターのホームページに、規程をはじめ、評価手数料等を公開している。